

岡崎市水循環推進協議会「水量に関する答申」(概要)

水量を取り巻く現状

森林

- ・額田町との合併により乙川の流域が全て岡崎市に含まれる。
- ・森林の蓄積量が縄文以降最高に多い。また「人工林の少子高齢化」が顕著
- ・「質的」に荒廃した森林



河川

- ・水道水の約半分は市内に水源を有する乙川から取水
- ・乙川の水位が経年的に減少傾向(明大寺観測地点)

洪水

- ・平成12年東海豪雨や平成20年8月末豪雨による被害
- ・雨水流出抑制のため、森林整備が急務

課題及び解決の方向性

間伐の推進

公益的機能重視の森林管理とその効果の科学的な調査、検討

林業の振興

作業の担い手を育成し、林業の振興を図ること

間伐・木材製品の利用促進

市内事業所や市民による間伐材の利用促進

敷地境界及び森林所有者の明確化

所有者同意による施業界の確定を市が主導して推進

森林保全の重要性の啓発

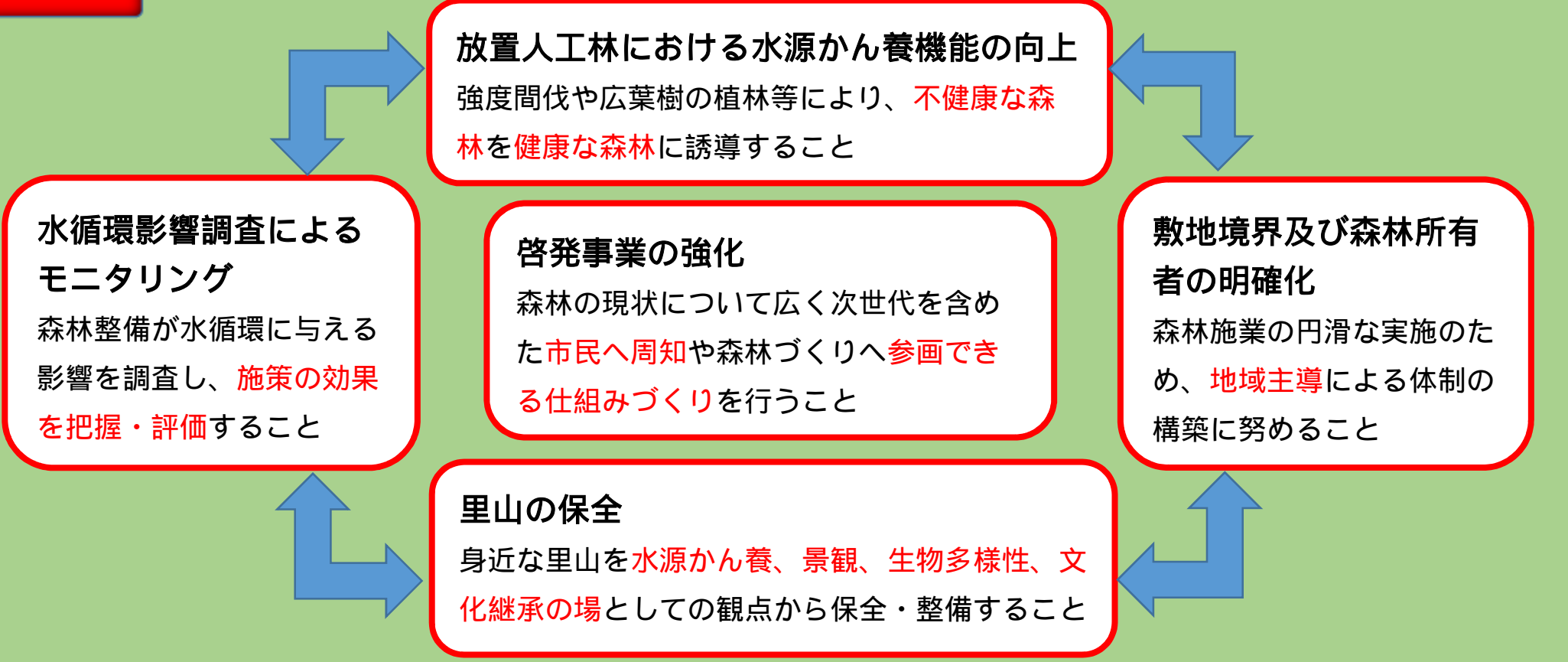
所有者だけでなく全市民に対する啓発、次の行動への発展

財源の確保

水源林保全への関心を持続させる仕組みの確立

何をしていくべきか？

提言



実現するために...

